

令和4年度第2回 川崎市社会教育委員会議図書館専門部会

日時 令和4年9月21日（水）

午前10時～12時

会場 川崎市立中原図書館多目的室

次 第

1 資料確認

2 第1回議事録確認

3 報告事項

- (1) 「市民館・図書館の管理・運営の考え方」に対するパブリックコメントの結果について

4 協議事項

- (1) 図書館専門部会のテーマについて

5 その他

- (1) 次回日程について

【配布資料】

資料No.1：令和4年度第1回川崎市社会教育委員会議図書館専門部会会議録（案）

資料No.2：研究活動や研究テーマに対するご意見まとめ

資料No.3：令和3年度「川崎の図書館」（川崎市立図書館活動報告書）

資料：「市民館・図書館の管理・運営の考え方」に対するパブリックコメントの結果について

「市民館・図書館の管理・運営の考え方」【本編】【概要版】

（生涯学習推進課 資料）

研究活動や研究テーマに対するご意見まとめ

※名簿順に記載

菅原 委員

《各学校が作成発行している副読本について》

- 1 全市の学校の副読本を収集する
- 2 図書館へのコーナー設置
- 3 副読本を活用しての実践、成果などをまとめてはどうか
- 4 市制100周年にむけて、各学校での歴史や地域学習の位置づけ

今野 委員

今年図書館の、人や地域を「つなげる」役割を考えたい。

ご承知の通り、川崎市の課題の一つは、地域のつながりの希薄化であるとされております。

「今後の市民館・図書館の目指す方向性」（第一回会議配布資料より）に於いても、社会教育を通じて両施設に求められる機能は、「人づくり」、「つながりづくり」、持続可能な「地域づくり」といった施策の推進役である、とされています。

こういった背景から、図書館には、本を媒体として、人や地域をつなげるプラットフォーム的役割が今後一層期待されると思われれます。よって、この役割を意識して議論してみたいと思いました。

今までも単独又は他機関との連携などで、地域の力を育む素晴らしい活動を推進しておられますので、先ず、現状を定量的に把握したいと思います。実績に対する効果測定をして「見える化」することで、効果的な活動の面展開や、「つなげる」活動に携わる可能性のある方々の把握が可能となります。また、成果をアピール（広報発表など）することで、新規利用者、諸活動への参加者、及びサポーターの拡大にも役立つのではないのでしょうか。

現状を把握した上で、今後の「つなげる」活動のための目標設定と、目標実現のための新規施策を効率よく検討出来るのではないかと思います。

渡部 委員

テーマ 「市民の学びや読書生活を支える図書館のあり方」

—資料整備や活用・地域の読書ボランティアとの連携のあり方を考える—

- 1 市民の学習を支える資料整備と資料提供のあり方
- 2 市民の読書意欲や知的欲求を育てるために地域の読書ボランティアとの連携のあり方を考える
- 3 市民の意見を吸い上げるシステムについて（市民の意見が図書館の運営に活かされる工夫を）

※別紙参照

吉田 委員

7月1日の摘録を参照して、今後の図書館専門部会の研究活動として、以下のような感想等を持ちましたのでお知らせします。

摘録の後段の市内7館のそれぞれの報告を聞いて、各館が3つの観点に即してそれぞれユニークな活動をしている事が素晴らしいと思いました。それで、これまでの実践と成果をまとめ、更に新たな課題について分析できたらと思いました。

テーマ例

「知と情報の拠点」としての川崎市立図書館の様々な取り組みの実際と課題

- 観点1 「行きたくなる図書館」についての各取り組みと課題
- 観点2 「町に飛び出す図書館」についての各取り組みと課題
- 観点3 「地域の力を育む図書館」についての各取り組みと課題
- 観点4 「各取り組み」の課題についての分析

青柳委員

今後の図書館のあり方として「今後のめざす3つの方向性」のもと各館で実施した取組の中で、特に資料の展示など蔵書を使ったもの以外に実施した取組に着目し、それらを整理の上、類似の取組の可能性を検討してはどうか。

たとえば、「地域の力を育む図書館」として行った、高津図書館での職場体験の実施による就労移行支援事業や、中原図書館での市の地域文化財で高校生などが演じる人形劇「乙女文楽」の開催など。

教育委員会以外の他部署との連携により、図書館として取り組めることを検討・実施していくことで、図書館サービスの伸展が期待できるのではないかと。海外の図書館ではこうした活動が見られる。

千 委員

- ・ 前回の研究活動報告書でも触れられていますが、電子書籍の導入について、メリットやデメリットも含めて検討するのは、いかがでしょうか？
- ・ 指定管理者制度の導入も議論されているので、改めて「図書館員の専門性のあり方」の検討はいかがでしょうか？（平成16・17年の活動報告でも取り上げられましたが、既に15年以上経っていますので、今の現状に沿って検討をする形です。）